

事業報告

<研修名>

令和2年度 学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業
第2回「地域学校協働活動」関係者研修（県北地区）

<開催日時・会場>

令和2年11月17日（火） 中津市北部公民館

<参加人数>

14名

<研修趣旨>

「協育」ネットワークを基盤とした地域学校協働活動を推進するため、地域学校協働活動推進員、「協育」ネットワーク関係者を対象に、地域学校協働活の実践事例を通じた学校との連携方策について学ぶ場とする。

<研修内容>

【研修1】▼授業参観（地域学校協働活動の実践事例）

中津市立北部小学校 3年 総合的な学習の時間「城下町めぐりウォークラリー」

中津市立北部小学校 3年総合的な学習の時間「城下町めぐりウォークラリー」を参観しました。12班に分かれた児童と一緒に、子ども達の学びに向かう態度、女性学級の方々の熱意ある説明やボランティアの皆さんのサポート、交通指導員の配置等、学校と地域が「連携・協働」している取り組みを見ることができました。

【研修2】▼事例発表

「学校と地域との連携について」

発表：中津市立北部小学校 校長 南 広也 氏

「本日の実践事例について」

発表：北部公民館女性学級運営委員長 矢坂 澄子 氏

「コーディネーターとしての役割」

発表：中津市北部公民館 館長 利光 信正 氏

北部小学校長・女性学級運営委員長・コーディネーター（公民館長）の三者による事例発表を行ったことでそれぞれの関わりや実践事例等について具体的に聞くことができました。事例発表では、城下町めぐりウォークラリーの歴史や例年と異なる点（コロナ禍での実施）について丁寧な発表をいただきました。今回の城下町めぐりウォークラリーはコロナ禍にありましたが、子ども達のためにチェックポイントの数、配置する人数、コース等、いろいろな対策が取られ実施されました。取組む姿勢や改善された点等、参加者された皆様の手がかりになる研修になりました。

<当日の様子(写真)>

【城下町めぐりウォークラリー】
▼開会式



【城下町めぐりウォークラリー】
▼チェックポイントの様子



【城下町めぐりウォークラリー】
▼チェックポイントでの説明



【全体会】
▼大分県立図書館 副館長兼学校・地域支援課 森山 貴仁



【全体会】
▼事例発表/協議



【全体会】
▼事例発表/協議



<参加者感想>

- 発表が具体的で今後の活動に大いに参考になった。
- 学校を中心とした地域との協働活動が本当に成果として根付いていると感じた。
- 学校・地域・女性学級（公民館）、他の関係者のつながりが素晴らしい。
- 地域と学校と公民館が一体となって活動していることが素晴らしく、コーディネーターがそれをサポートしている。